

移動事象の言語表現に関する文献目録

第2部

松本 曜

通言語的

- 池上嘉彦 (IKEGAMI, Yoshihiko) 1981 『「する」と「なる」の言語学——言語と文化のタイポロジーへの試論』 大修館書店
- 金原いれいね・田窪こずえ・ルタイワン,ケッサクン・大堀壽夫 (KIMBARA, Irene, Kozue TAKUBO, Ruetaivan KESAKUL, and Toshio OHORI) 2000 「移動表現の類型と談話フレーム——Ways to Travel in East Asia」 *Proceedings of the Twenty-fourth Annual Meeting, Kansai Linguistic Society* 20: 186-195
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 2003 「タルミーによる移動表現の類型をめぐる問題——移動の意味論I——」 『明治学院論叢』 (明治学院大学文学会) 747: 51-82.
- 宮島達夫 (MIYAJIMA, Tatsuo) 1984 「日本語とヨーロッパ語の移動動詞」 国語学会編『金田一春彦博士古希記念論文集 (第二巻：言語学編)』 三省堂
- 宮島達夫 (MIYAJIMA, Tatsuo) 1994 「移動動詞と格・前置詞：ヨーロッパ語との比較」 宮島達夫『語彙論研究』 463-472 むぎ書房
- 當野能之・呂仁梅 (TOHNO, Takayuki; LU, Renmei). 2003. 「着脱動詞の対照研究：日本語・中国語・英語・スウェーデン語・マラーティ語の比較」 『世界の日本語教育. 日本語教育論集』 13:127-141,179,187.

日本語—移動動詞

- 安 平鎬 (AHN, Pyeong-Ho) 1996 「自動詞文の格の代換について——『発生』と『移動変化』をめぐる、『あふれる』を中心に——」 『日本語と日本文学』 (筑波大学国語国文学会) 23
- 荒井文雄 (ARAI, Fumio) 1992 「移動動詞の意味構造とアスペクト極性」 『京都産業大学国際言語科学研究所所報』 14, 1: 55-105
- 池上嘉彦 (IKEGAMI, Yoshihiko) 1993 「<移動>のスキーマと<行動>のスキーマ——日本語の『ヲ格+ 移動動詞』構造の類型論的考察」 『外国語科研究紀要』 (東京大学教養学部) 41, 3: 34-53
- 井本 亮 (IMOTO, Ryo) 2001 「位置変化動詞の意味について——副詞句の解釈との対応関係と語彙概念構造——」 『日本語文法』 1: 177-197
- 岩本遠億 (IWAMOTO, Enoch) 2002 「日本語空間表現のアスペクトについて」 *Scientific Approaches to Language* (Kanda University of International Studies) 1: 77-107
- 上野誠司 (UENO, Seiji) 2003 『日本語の空間表現と移動表現の概念意味論的研究』 (大阪大学大学院言語文化研究科博士論文)

- 上野誠司 (UENO, Seiji) 2005 「空間・移動表現の語彙・概念意味論的研究」『私学研修』163/164: 97-119
- 上野誠司・影山太郎 (UENO, Seiji and Taro KAGEYAMA) 2001 「移動と経路の表現」影山太郎編『日英対照 動詞の意味と構文』大修館書店
- 岡田幸彦 (OKADA, Yukihiro) 2001 「空間移動を表す動詞の分析—構文特性・アスペクト特性・タクシス特性に基づいて—」『日本語科学』10
- 岡田幸彦 (OKADA, Yukihiro) 2003 「物体の空間移動を表す他動詞の語彙的意味記述のための試論—補語的名詞(句)との結合関係に基づいて—」国松昭・東信行・湯本昭南・高橋作太郎・馬場彰・早津恵美子編『松田徳一郎教授追悼論文集』研究社
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 1980 『日英比較 語彙の構造』松柏社
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 1996 「日英語の移動動詞」『関西学院大学英米文学』40, 2: 91-121
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 1996 『動詞意味論：言語と認知の接点』くろしお出版
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 2002 「非対格構造の他動詞——意味と統語のインターフェイス」伊藤たかね編『文法理論：レキシコンと統語』（シリーズ言語科学第一巻）東京大学出版会
- 影山 太郎 (KAGEYAMA, Taro) 2002 「概念構造の拡充パターンと有界性」『日本語文法』2(2): 29-45
- 影山太郎・由本陽子 (KAGEYAMA, Taro, and Yoko YUMOTO) 1997 『語形成と概念構造』研究社出版
- 國廣哲彌 (KUNIHIRO, Tetsuya) 1982 『意味論の方法』大修館書店
- 国広哲弥 (KUNIHIRO, Tetsuya) 1997 『理想の国語辞典』大修館書店
- 国立国語研究所 (Kokuritsu Kokugo Kenkyusho) 1972 『動詞の意味・用法の記述的研究』（国立国語研究所報告 43）秀英出版（担当：宮島達夫）
- 柴田武・國廣哲彌・長嶋義郎・山田 進 (SHIBATA, Takeshi, Tetsuya KUNIHIRO, Yoshio NAGASHIMA, and Susumu YAMADA) 1976 『ことばの意味 1』平凡社
- 鷺見幸美 (SUMI, Yukimi) 1999 「動詞『とおる』の多義構造」名古屋ことばのつどい編集委員会編『日本語論究 6 認識・表記・語彙』127-150 和泉書院
- 丹保健一 (TANBO, Ken'ichi) 1997 「『ヲ出る』『カラ出る』の文法——物理的移動の場合——」『金沢大学語学文学研究』26: 16-23
- 丹保健一 (TANBO, Ken'ichi) 1998 「『ヲ出る』『カラ出る』の文法（その2）」『三重大学教育学部研究紀要（人文・社会科学）』49: 17-25
- 鳥羽祥子 1998 「動詞の意味の領域:CLIMBと『のぼる』」『表現研究』68:61-75
- 友岡純子 (TOMOOKA, Junko) 1998 「『かえす/かえる』『の認知的多義構造』『表

現研究』 68:76-83

- 半沢洋子 (HANZAWA, Yoko) 1977 「場所の移動を表わす動詞の意味分析——『越える』と『渡る』について」 『国語学研究』 (東北大学文学部) 17: 38-25
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 1997 「空間移動の言語表現とその拡張」 田中茂範・松本曜 『日英語比較選書 6: 空間と移動の表現』 126-229 研究社出版
- 森口恒一 (MORIGUCHI, Tsunekazu) 1991 「日本語におけるある種の方向性動詞の方言的差異の一考察」 『横浜国立大学人文紀要 第2類 語学文学』 38: 1-8
- 森山卓郎 (MORIYAMA, Takuro) 1987 「方向・移動の形式をめぐって」 『語文』 (大阪大学国語国文学会) 49: 29-40
- 森山卓郎 (MORIYAMA, Takuro) 1988 『日本語動詞述語文の研究』 明治書院

日本語---行く来る

- 今仁生美 (IMANI, Ikumi) 1990 「VテクルとVテイクについて」 『日本語学』 9, 5: 54-66
- 大江三郎 (OHYE, Saburo) 1975 『日英語の比較研究——主観性をめぐって』 南雲堂
- 大里泰弘 (OOSATO, Yasuhiro) 1983 「九州方言における『来る』について」 『九大言語学研究室報告』 4: 39-42
- 大場美穂子 (OHBA, Mihoko) 1997 「移動を表す動詞『行く・来る』の使用法について」 『東京大学言語学論集』 16 東京大学
- 江田すみれ (GODA, Sumire) 1997 「動詞『いく』『くる』の意味と用法について」 『日本語教育論文集小出詞子先生退職記念』 凡人社
- 小島聡子 (KOJIMA, Satoko) 1999 「複合動詞後項『行く』の変遷」 『国語と国文学』 76, 4: 56-69
- 坂原 茂 (SAKAHARA, Shigeru) 1994-5 「複合動詞『Vて来る』」 『言語・情報・テキスト』 (東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻) 2: 109-143
- 鈴木 泰 (SUZUKI, Tai) 1999 「古典対照語い表と分類語彙表——『行く』を後項素とする複合動詞の場合」 『国文学 解釈と鑑賞』 64, 1: 121-129
- 中澤恒子 (NAKAZAWA, Tsuneko) 2002 「『来る』『行く』の到着するところ」 生越直樹 (編) 『対照言語学』 (シリーズ言語科学 4) 281-304
- 成田徹男 (NARITA, Tetsuo) 1981 「空間移動を表す『～てくる・ていく』」 『人文学報』 (東京都立大学人文学部) 146: 1-20
- 森田良行 (MORITA, Yoshiyuki) 1968 「『行く・来る』の用法」 『国語学』 75: 75-87

日本語---使役移動動詞

- 大谷伊都子 (OTANI, Itsuko) 1986 「多義動詞の一考察 『だす』『あげる』『たて

- る』を例として」 宮地裕編『論集日本語研究（一）現代編』 明治書房
- 大谷伊都子 (OTANI, Itsuko) 1999 「古典における『いだす』『たつ』『あぐ』の用法」 国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究 十八 山内洋一郎教授退官記念』 和泉書院
- 大谷伊都子 (OTANI, Itsuko) 1985 「古典における動詞「かく」の用法：抽象を表す語との結びつきから」 『語文』 46: 1-13
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 1993 『文法と語形成』 ひつじ書房
- 川野靖子 (KAWANO, Yasuko) 1997 「位置変化動詞と状態変化動詞の接点——いわゆる『壁塗り代換』を中心に」 『筑波日本語研究』 2: 28-40
- 斎藤倫明 (SAITO, Michiaki) 1992 『現代日本語の語構成論的研究——語における形と意味——』 ひつじ書房
- 鷺見幸美 (SUMI, Yukimi) 1997 「動詞『ひく』の分析」 『ことばの科学』（名古屋大学言語文化部言語文化研究委員会） 10: 185-203
- 鷺見幸美 (SUMI, Yukimi) 1999 「動詞『ぬく』の多義構造」 『名古屋大学日本語・日本文化論集』（名古屋大学留学生センター） 7: 1-40
- 鷺見幸美 (SUMI, Yukimi) 2001 「日本語使役移動動詞『とおす』の多義構造」 『日本認知言語学会論文集』 1: 99-109
- 鷺見幸美 (SUMI, Yukimi) 2003. 「使役移動動詞の使用について」 『日本認知言語学会論文集』 3: 149-159
- 蔦原伊都子 (TOBIHARA, Itsuko) 1984 「語の多義性について——動詞『かける』の意味分析——」 『日本語学』 3, 11
- 鍋島弘治郎 (NABESHIMA, Kojiro) 1997 「動詞『かける』の多義に関する認知的考察」 Proceedings of the Twenty-First Annual Meeting, Kansai Linguistic Society, pp. 78-87
- 成田徹男 (NARITA, Tetsuo) 1995 「多義語『さす』とその周辺」 『日本語研究』（東京都立大学国語学研究室） 15: 11-20
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 1997 「空間移動の言語表現とその拡張」 田中茂範・松本曜『日英語比較選書 6：空間と移動の表現』 126-229 研究社出版
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 2002 「使役移動構文における意味的制約」 西村義樹編『認知言語学I：事象構造』（シリーズ言語科学第二巻） 東京大学出版会
- 游 麗満 (YOU, Liman) 1989. 「『かける』の意味分析」 『東京外国語大学日本語学科年報』 11: 87-92

日本語—複合動詞

- 今井 忍 (IMAI, Shinobu) 1993 「複合動詞後項の多義性に対する認知意味論によるアプローチ——『～出す』の起動の意味を中心に——」 『言語学研究』（京都

- 大学) 『～出す』の起動の意味を中心にして』『言語学研究』(京都大学)12: 1-24
- 今泉志奈子・郡司隆男 (IMAIZUMI, Shinako, and Takao GUNJI) 2002 「語彙的複合における複合事象——『出す』『出る』に見られる使役と受動の役割」 伊藤たかね編『文法理論：レキシコンと統語』(シリーズ言語科学第一巻) 東京大学出版会
- 小島聡子 (KOJIMA, Satoko) 1999 「複合動詞後項『行く』の変遷」 『国語と国文学』76, 4: 56-69
- 斎藤倫明 (SAITO, Michiaki) 1985 「複合動詞後項の接辞化——『返す』の場合を対象として」 『国語学』140:132-120 (斎藤1992に再録)
- 坂原 茂 (SAKAHARA, Shigeru) 1994-5 「複合動詞『Vて来る』」 『言語・情報・テキスト』(東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻) 2: 109-143
- 鈴木 泰 (SUZUKI, Tai) 1999 「古典対照語い表と分類語彙表——『行く』を後項素とする複合動詞の場合」 『国文学 解釈と鑑賞』64, 1: 121-129
- 関 一雄 (SEKI, Kazuo) 1977 『国語複合動詞の研究』 明治書院
- 高原瑞穂 (TAKAHARA, Mizuho) 1997 「複合動詞前項の意味に対する一考察——『飛び～』を対象として」 『フェリス女学院大学日文学大学院紀要』5 フェリス女学院大学
- 田辺和子 (TANABE, Kazuko) 1983 「複合動詞の意味と構成——『～ダス』・『～アゲル』を中心に」 『日本語と日本文学』3
- 田辺和子 (TANABE, Kazuko) 1995 「日本語の複合動詞の後項動詞にみる文法化」 『日本女子大学紀要(文学部)』45: 1-16
- 姫野昌子 (HIMENO, Masako) 1976 「複合動詞『～あがる』、『～あげる』および下降を表す複合動詞類」 『日本語学校論集』(東京外国語大学) 3
- 姫野昌子 (HIMENO, Masako) 1977 「複合動詞『～でる』と『～だす』」 『日本語学校論集』4
- 姫野昌子 (HIMENO, Masako) 1978 「複合動詞『～込む』および内部移動を表す複合動詞類」 『日本語学校論集』(東京外国語大学) 5: 47-70
- 姫野昌子 (HIMENO, Masako) 1999 『複合動詞の構造と意味用法』 ひつじ書房
- 松田文子 (MATSUDA, Fumiko) 2001 「コア図式を用いた複合動詞後項『～こむ』の認知意味論的説明」 『日本語教育』111: 16-25.
- 松田文子 (MATSUDA, Fumiko) 2004. 『日本語複合動詞の習得研究 認知意味論による意味分析を通して』 ひつじ書房
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 1998 「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」 『言語研究』114: 37-83
- 南 芳公 (MINAMI, Yoshihiro) 1988 「いわゆる複合動詞の後項『～ワタル』について」 此島正年博士喜寿記念論文集刊行会『此島正年博士喜寿記念 国語語彙語法論叢』 桜楓社

日本語—格助詞

- 岩本遠億 (IWAMOTO, Enoch) 2001 「空間関係を表す『を』格と行路の稠密性」
『言語科学研究』(神田外語大学大学院) 7: 13-42
- 上野誠司 (UENO, Seiji) 2000 「日本語のマデ格と移動動詞の意味分類」 『日本認
知科学会第17回大会発表論文集』 220-221
- 影山 太郎 (KAGEYAMA, Taro) 2003a 「『東京までずっと寝ていた』という構文の
概念構造」 『国文学 解釈と教材の研究』 48(4): 37-44
- 川野靖子 (KAWANO, Yasuko) 2001 「ヲ格句を伴う移動動詞句について——アスペ
クト的観点からの動詞句分類における位置づけ」 『日本語と日本文
学』(筑波大学国語国文学会) 33: 25-38
- 川野靖子 (KAWANO, Yasuko) 2004 「空間表現における格成分の語順」 『日本語教
育』 120: 23-32
- 北原博雄 (KITAHARA, Hiroo) 1997 「『位置変化動詞』と共起する場所ニ格句の意
味役割——着点と方向の二分」 『国語学研究』 36: 52-43 東北大学
- 北原博雄 (KITAHARA, Hiroo) 1998 「移動動詞と共起するニ格句とマデ格句——
数量表現との共起関係に基づいた語彙意味論的考察」 『国語学』 195: 98-84
- 菅井一実 (SUGAI, Kazumi) 1999 「日本語における空間の対格表示について」
『名古屋大学文学部研究論集』 45: 75-92
- 成田徹男 (NARITA, Tetsuo) 1979 「動詞の意味と格——『移動』に関する動詞を中
心に」 『人文学報』(東京都立大学人文学部) 132: 47-64
- 三宅知宏 (MIYAKE, Tomohiro) 1996 「日本語の移動動詞の対格標示について」
『言語研究』 110: 143-168
- 宮島達夫 (MIYAJIMA, Tatsuo) 1987 「格支配の量的側面」 宮地裕編『論集日本語
研究: 現代編』 41-58 明治書院
- 山田 進 (YAMADA, Susumu) 1981 「機能語の意味の比較」 國廣哲彌編『日英語
比較講座3 意味と語彙』 53-99 大修館書店
- 矢沢真人・安部朋世 (YAZAWA, Makoto, and Tomoyo ABE) 2000 「方向のヘト格」
青木三郎・竹沢幸一編『空間表現と文法』 29-50 くろしお出版
- 和氣愛仁 (WAKI, Toshihito) 1996 「『に』の機能」 『筑波大学日本語研究』(筑
波大学文芸・言語研究科日本語学研究室) 創刊号

日本語—意味拡張 (＜複合動詞＞、＜行く来る＞も参照)

- 伊藤健人 2003 「動詞の意味と構文の意味——「出る」の多義性に関する構文文法
的アプローチ——」 『明海日本語』 8: 39-52.
- 国広哲弥 (KUNIHIRO, Tetsuya) 1985 「認知と言語表現」 『言語研究』 88: 1-19
- 瀬戸賢一 (SETO, Ken'ichi) 1995 『空間のレトリック』 海鳴社

- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 1997 「空間移動の言語表現とその拡張」 田中茂
 範・松本曜『日英語比較選書 6: 空間と移動の表現』126-229 研究社出版
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 2004 「日本語の視覚表現における虚構移動」 『日本
 語文法』4(1): 111-128.
- 由井紀久子 (YUI, Kikuko) 1997 「日本語における意味の抽象化過程の研究——補
 助動詞用法をもつ動詞の意味分析」 『大阪大学文学部紀要』37: 1-152

日本語---その他

- 田窪行則 (TAKUBO, Yukinori) 1984 「現代日本語の場所を表す名詞類について」
 『日本語・日本文化』(大阪外大留学生別科) 12: 89-117
- 田守育啓・スコウラップ, ローレンス (TAMORI, Ikuhiro and Lawrence
 SCHOURUP) 1999 『オノマトペ——形態と意味』(日英語対照研究シリーズ
 6) くろしお出版

中国語

- 荒川清秀 (ARAKAWA, Kiyohide) 1986 「中国語の方向補語について」 『外語研
 紀要』(愛知大学外国語研究室) 10: 9-23
- 荒川清秀 (ARAKAWA, Kiyohide) 1994 「買ッテクルと“买来”」 『外語研紀
 要』(愛知大学外国語研究室) 18: 71-81
- 荒川清秀 (ARAKAWA, Kiyohide) 1996 「日本語と中国語の移動動詞」 『外語研
 紀要』(愛知大学外国語研究室) 22: 9-23
- 荒川清秀 (ARAKAWA, Kiyohide) 1997 「日本語名詞のトコロ(空間)性——中国
 語との関連で——」 『日本語と中国語の対照研究論文集』71-94 くろしお出
 版
- 荒川清秀 (ARAKAWA, Kiyohide) 2003 『一步進んだ中国語文法』 くろしお出版
- 今井敬子 (IMAI, Keiko) 1985 「『結果を表す動補構造』の統辞法」 『中国語
 学』232: 23-32
- 鶴殿倫次 (UDONO, Tomotsugu) 1987 「中国語の方向複合動詞と場所目的語」
 『愛知県立大学外国語学部紀要(言語文学編)』19: 247-273
- 大橋志華 (OHASHI, Shika) 2001 「動補構造『動詞+“上”』に対応する日本語表現
 について」 『日中言語対照研究論集』3:81-98
- 沈 力 (SHEN, Li) 2000 「中国語とタイ語の動詞連続構文における文法範疇——中
 タイ両言語には方向範疇があるのか」 『言語文化』(同志社大学言語文化学
 会) 3, 2: 113-144
- 下地早智子 (SHIMOJI, Sachiko) 1997 「移動動詞に関わる『視点』の日中対照研
 究」 『中国語学』244: 132-140.
- 杉村博文 (SUGIMURA, Hirofumi) 1991 「掏出来≠取り出してくる」 相原茂他著
 『中国語学習Q&A101』105-107 大修館書店

- 杉村博文 (SUGIMURA, Hirofumi) 2000 「“走进来”について」 『中国語論集』 151-164 白帝社
- 高橋 弥守彦 (TAKAHASHI, Yasuhiko) 2001a 「趨向動詞“来”について」 『大東文化大学紀要 人文科学』 39: 17-38
- 高橋 弥守彦 (TAKAHASHI, Yasuhiko) 2001b 「動補連語“走出来”について」 『大東文化大学外国語学研究』 2:77-88
- 高橋 弥守彦 (TAKAHASHI, Yasuhiko) 2002 「移動を表す動補連語“走进来”について」 『大東文化大学外国語学研究』 3:53-62
- 高橋 弥守彦 (TAKAHASHI, Yasuhiko) 2003a 「移動を表す動補連語“走回来”について」 『語学教育研究論叢』 20 :1-24 (大東文化大学語学教育研究所)
- 高橋 弥守彦 (TAKAHASHI, Yasuhiko) 2003b 「趨向動詞“去”について」 『大東文化大学紀要 人文科学』 41:225-255
- 高橋 弥守彦 (TAKAHASHI, Yasuhiko) 2003c 「位置移動動詞“進・出”と空間語との関係について」 『大東文化大学外国語学研究』 4 :48-60
- 菱沼 透 (HISHINUMA, Toru) 1995 「格助詞の対照研究——日本語と中国語の移動動詞について」 『明治大学人文科学研究所紀要』 37: 309-321
- 方 美麗 (FANG, Meili) 2002 「「連語論」<「移動動詞」と「空間名詞」との関係>—中国語の視点から—」 『日本語科学』 11: 55-78.
- 方 美麗 (FANG, Meili) 2004a 『「移動動詞」と空間表現—統語論的な視点から見た日本語と中国語』 白帝社
- 方 美麗 (FANG, Meili) 2004b 「移動と場所との関係—日中対照研究—」 記念行事委員会編 『21世紀言語学研究—鈴木康之教授古希紀念論集』 白帝社
- 丸尾 誠 (MARUO, Makoto) 2000 「“去+VP”形式と“VP+去”形式について——VPが“去”の目的を表す場合」 『名古屋大学中国語学文学論集』 13:27-42 名古屋大学中国文学研究室
- 丸尾 誠 (MARUO, Makoto) 2001 「中国語の移動動詞に関する一考察——着点との関連において」 『中国言語文化論叢』 (東京外国語大学中国言語文化研究会) 4 :1-22
- 丸尾 誠 (MARUO, Makoto) 2003 「“(S+)从/在+L+VP”形式の表す移動概念」 『日中言語対照研究論集』 5:60-73 日中言語対照研究会
- 丸尾 誠 (MARUO, Makoto) 2004a 「中国語の場所表現について——移動・存在義と方位」 『日中言語対照研究論集』 6: 35-51
- 丸尾 誠 (MARUO, Makoto) 2004b 「中国語の場所詞について--モノ・トコロという観点から」 『言語文化論集』 25(2):151-166 名古屋大学大学院国際言語文化研究科
- 望月圭子 (MOCHIZUKI, Keiko) 1990 「動補動詞の形成」 『中国語学』 237: 128-137

- 望月圭子 (MOCHIZUKI, Keiko) 1990 「日・中両語の結果を表わす複合動詞」
『東京外国語大学論集』40:13-27
- 横田文彦 (YOKOTA, Fumihiko) 2001 「中国語の着点を表す結果表現に関する一考察——広東語の『VO=[hai]L』構文を中心に」 『中国文学研究』27: 51-67 早稲田大學中國文
- ラマルル・クリスティーン (LAMARRE, Christine=柯 理思) 2002 「汉语方言里连接趋向成分的形式（漢語諸方言において動詞と方向マーカのあいだに挿入される形式について）」 『中国語文研究』1: 26-44 香港中文大学中国文化研究所
- ラマルル・クリスティーン (LAMARRE, Christine) 2003 「状態変化、構文、そして言語干渉：中国語の【V+在+場所】構文のケース」, 『開篇』22 好文出版
- ラマルル・クリスティーン (LAMARRE, Christine=柯 理思) 2003 《汉语空间位移事件的语言表达—兼论述趋式的几个问题》《现代中国语研》5: 1-18.
- ラマルル・クリスティーン (LAMARRE, Christine) 2004中国語における方向詞のカテゴリー化 『言語』33(4): 66-74
- 盧 濤 (LU, Tao) 2000 『中国語における「空間動詞」の文法化研究——日本語と英語との関連で』 白帝社

韓国語

- 安 平鎬 (AHN, Pyeong-Ho) 1998 「韓国語における『移動動詞』をめぐって——『Oluta』と『Ollakata』を中心に」 『文芸言語研究（言語篇）』（筑波大学文芸言語学系）33: 95-111

英語

- 池上嘉彦 (IKEGAMI, Yoshihiko) 1975 『意味論——意味構造の分析と記述』 大修館書店
- 大江三郎 (OHYE, Saburo) 1975 『日英語の比較研究——主観性をめぐって』 南雲堂
- 大山恭子 (OYAMA, Kyoko) 2001 「動詞と移動構文——way構文と使役移動構文を中心に——」 中右実教授還暦記念論文集編集委員会編『形と意味のインターフェイス 上』89-104 くろしお出版
- 太田 朗 (OTA, Akira) 1997 「動詞の意味と統語構造——日英語の比較——」 『私の遍歴——英語の研究と教育をめぐって——』245-272 大修館書店
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 1980 『日英比較 語彙の構造』 松柏社
- 影山太郎 (KAGEYAMA, Taro) 1996 「日英語の移動動詞」 『関西学院大学英米文学』40, 2: 91-121
- 影山 太郎 (KAGEYAMA, Taro) 2003b 「I slept all the way to Tokyo構文における副詞

- 句の概念構造」『英米文学』47(1,2):305-319 関西学院大学英米文学会
 国広哲弥 (KUNIHIRO, Tetsuya) 1970 「日英両語設置動詞の意義素」『意味の諸相』163-186 三省堂
- 小林亜希子 (KOBAYASHI, Akiko) 1997 「移動動詞の格表示に関する日英語比較研究」『Nidaba』26 西日本言語学会
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 1999 「コウビルド・コーパスと英和辞典における spray/load 交替」『明治学院大学外国語教育研究所紀要』9: 23-35
- 松本 曜 (MATSUMOTO, Yo) 1997 「英語前置詞による『到達経路表現』——認知言語学的視点から」『英語青年』142, 12: 661-666.
- 丸田忠雄 (MARUTA, Tadao) 1998 『使役動詞のアナトミー：語彙的使役動詞の語彙概念構造』 松柏社
- 山本和之 (YAMAMOTO, Kazuyuki) 1984 「Run と『走る』——辞書の定義と日英語の比較——」『英語と英米文学』(山口大学) 19 (『日英語の分析と対照研究』381-386 (1998) 窓映社)
- 山本和之 (YAMAMOTO, Kazuyuki) 1995 「移動と所在：日英語における着在の語彙概念構造」『英語と英米文学』(山口大学) 30 (『日英語の分析と対照研究』137-157 (1998) 窓映社)

ドイツ語

- 岡本順治 (OKAMOTO, Junji) 1997 「ドイツ語における移動動詞の認知意味論的考察」『移動動詞の作り出すメタファーの認知的・実証的研究』(平成7年度文部省科学研究費補助金一般研究(C)研究成果報告書) 5-32
- 岡本順治 (OKAMOTO, Junji) 1997 「移動動詞における随伴使役構文：英語とドイツ語の対比」『移動動詞の作り出すメタファーの認知的・実証的研究』(平成7年度文部省科学研究費補助金一般研究(C)研究成果報告書) 97-105
- 岡本順治 (OKAMOTO, Junji) 2001 「認知言語論」吉田光演・保阪靖人・岡本順治・野村泰幸・小川暁夫『現代ドイツ言語学入門——生成・認知・類型のアプローチから』大修館書店
- 小川暁夫 (OGAWA, Akio) 1985 「他動的移動を表わす動詞の前綴化」*Der Keim* (東京外国語大学大学院ドイツ語学文学研究会) 9
- 小川暁夫 (OGAWA, Akio) 2001 「ドイツ語と言語類型論」吉田光演・保阪靖人・岡本順治・野村泰幸・小川暁夫『現代ドイツ言語学入門——生成・認知・類型のアプローチから』165-200 大修館書店
- 栗山郁雄 (KURIYAMA, Ikuo) 1988 「移動動詞における『動作性』と『移動性』」*Der Keim* (東京外国語大学大学院ドイツ語学文学研究会) 12

- 在間 進 (ZAIMA, Susumu) 1996 「移動単一動詞一覧——重要動詞1300語より選択されたもの」 『東京外国語大学論集』 52: 257-279
- 在間 進 (ZAIMA, Susumu) 1998 『ドイツ語の「統語論的意味的生成メカニズム」』 [zaima/papers.html](http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/) <http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/>
- 在間 進 (ZAIMA, Susumu) 2000 「ドイツ語移動動詞の意味的展開」 『東京外国語大学論集』 59: 1-12:
- 高橋亮介 (TAKAHASHI, Ryosuke) 2002 「ドイツ語移動動詞における意味の拡張」 『日本認知言語学会論文集』 2: 263-266
- 渡辺伸治 (WATANABE, Shinji) 1994 「kommenのダイクシスと意味」 『ドイツ文学』 93: 125-135
- 渡辺伸治 (WATANABE, Shinji) 1995 「ドイツ語移動動詞の認知論考察」 『言語文化研究』 (大阪大学言語文化学部大学院言語文化研究科) 21: 359-379

その他の言語

- 荒井文雄 (ARAI, Fumio) 1994 「日本語およびフランス語における空間表現の対照意味論」 『京都産業大学論集』 24, 2: 22-89
- 上田広美・岡田知子 (UEDA, Hiromi and Tomoko OKADA) 1999 「クメール語の動詞 /təək/<行く>と /<行く>と /mɔ̀ək/<来る>について」 『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』 31:155-168
- 宇根祥夫 (UNE, Yoshio) 1985 「ベトナム語の方向動詞——“イク”“クル”考」 『東京外国語大学論集』 35: 103-114
- ケッサクン, ルタイワン (KESSAKUL, Ruetaivan) 1998 「日・タイ語の移動を表す様態述語の再考察」 『言語情報学研究』 (東京大学言語情報科学研究会) 3: 81-98
- 坂本比奈子 (SAKAMOTO, Hinako) 1988 「日本語の動詞『行く/来る』とタイ語の動詞pay/maaの対照研究」 『麗沢大学紀要』 47: 41-74
- 坂本比奈子 (SAKAMOTO, Hinako) 1991 「語彙の対照研究——日本語とタイ語の移動表現」 『国文学 解釈と鑑賞』 56, 1: 43-48
- 佐藤暢治 (SATO, Yoji) 1997 「モンゴル語の移動動詞——経路とその格標示」 『ニダバ』 (西日本言語学会) 26: 59-68
- 沈 力 (SHEN, Li) 2000 「中国語とタイ語の動詞連続構文における文法範疇——中タイ両言語には方向範疇があるのか」 『言語文化』 (同志社大学言語文化学会) 3, 2: 113-144
- 當野能之 (TOHNO, Takayuki) 2002 「スウェーデン語の獲得を表す表現に関する一考察」 IDUN 15:51-66. (大阪外語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室)
- 早田輝洋 (HAYATA, Teruhiro) 1995 「満洲語文語における『行く』と『来る』——

- 『行く』と『来る』の使い分けの一例」『大東文化大学紀要（人文科学）』33: 179-197
- 平塚 徹 (HIRATSUKA, Toru) 2003 「使役移動動詞構文における起点の標示について」『フランス語フランス文学研究』83
- 松野明久(MATSUNO, Akihisa) 1985 「インドネシア語における移動の終点と前置詞 di/ke」『大阪外国語大学学報』70, 1: 31-40
- 松村一登 (MATSUMURA, Kazuto) 1987 「マリ（チェレミス）語の複合動詞：日本語の複合動詞との比較」 小泉保教授還暦記念論文集編集委員会編『言語学の視界：小泉保教授還暦記念論文集』35-365 大学書林
- レー・バン・クー（村上 雄太郎） 1990 「日越両語における複合動詞『～出す』と『～RA』との対照比較」『日本語教育』72: 117-125
- 山本謙吾 (YAMAMORO, Kengo) 1981 「満州語基礎語彙 IX：移動・交通編」『言語研究』43: 9-33